



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん
北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



小布施町 都住
真雁 マガン
(国の天然記念物)

数十年振りに信州に飛来した雁の群れ。夫婦は一生涯添い遂げ、いつも家族で行動します。子供達には渡りのコースや生き抜く知恵を数年かけて教え、仲間がケガをしたらずっと付き添うことも。一族の絆が強く、情け深い姿は古来から日本人に愛されました。真田家の裏家紋は、結び雁金紋(むすびかりがねもん)。松代中学校の校章にも使われています。すでに遠くシベリアへと旅立ちましたが、晩秋の帰郷を心待ちに。

「けふからは 日本の雁ぞ 楽に寝よ」小林一茶

遠い北の国から長旅ご苦労様、さあ日本に着いたよ、今日から安心してお休み

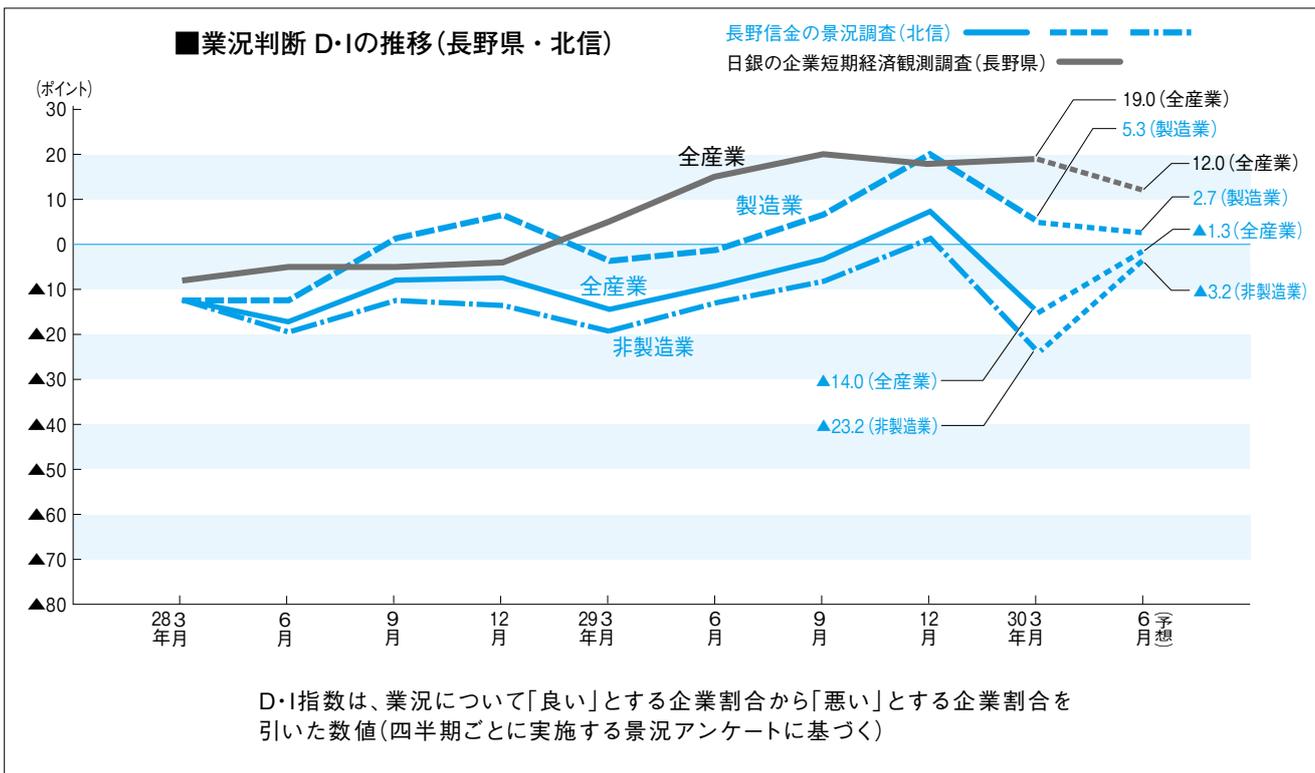
- 長野しんきん 景況調査レポート 2
- 企業アンケート 人手不足 ① 6
- 生活者アンケート 就業意識 ① 9
- 北信濃 江戸時代の風景 (45) 善光寺の仲見世...10

あなたに元気、まちに活気。



長野信用金庫

◆長野県北信地区◆平成30年1～3月期…景況の現状 ◇30年4～6月期…景況の見通し



全産業+7 → ▲14 製造業・非製造業ともに悪化

平成30年1～3月期の業況判断D・Iは、全産業で21^{ポイント}悪化して▲14となりました。製造業は15^{ポイント}悪化の+5、非製造業は24^{ポイント}悪化の▲23です。

平成30年4～6月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、13^{ポイント}改善の▲1となりました。

◆北信地区の1月～3月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	+7	▲14 (21 ^{ポイント} 悪化)	▲1
製造業	+20	+5 (15 ^{ポイント} 悪化)	+3
非製造業	+1	▲23 (24 ^{ポイント} 悪化)	▲3

非製造業 +1 → ▲23 3業種ともに悪化

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が▲28(前期比▲34^{ポイント})、卸小売業が▲22(同▲27^{ポイント})、

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	+1	▲23 (24 ^{ポイント} 悪化)	▲3
建設業	+6	▲28 (34 ^{ポイント} 悪化)	▲2
卸小売業	+5	▲22 (27 ^{ポイント} 悪化)	±0
サービス業	▲8	▲19 (11 ^{ポイント} 悪化)	▲8

サービス業が▲19(同▲11^{ポイント})となり、3業種ともに悪化しています。

◆売上高D・Iと収益判断D・I

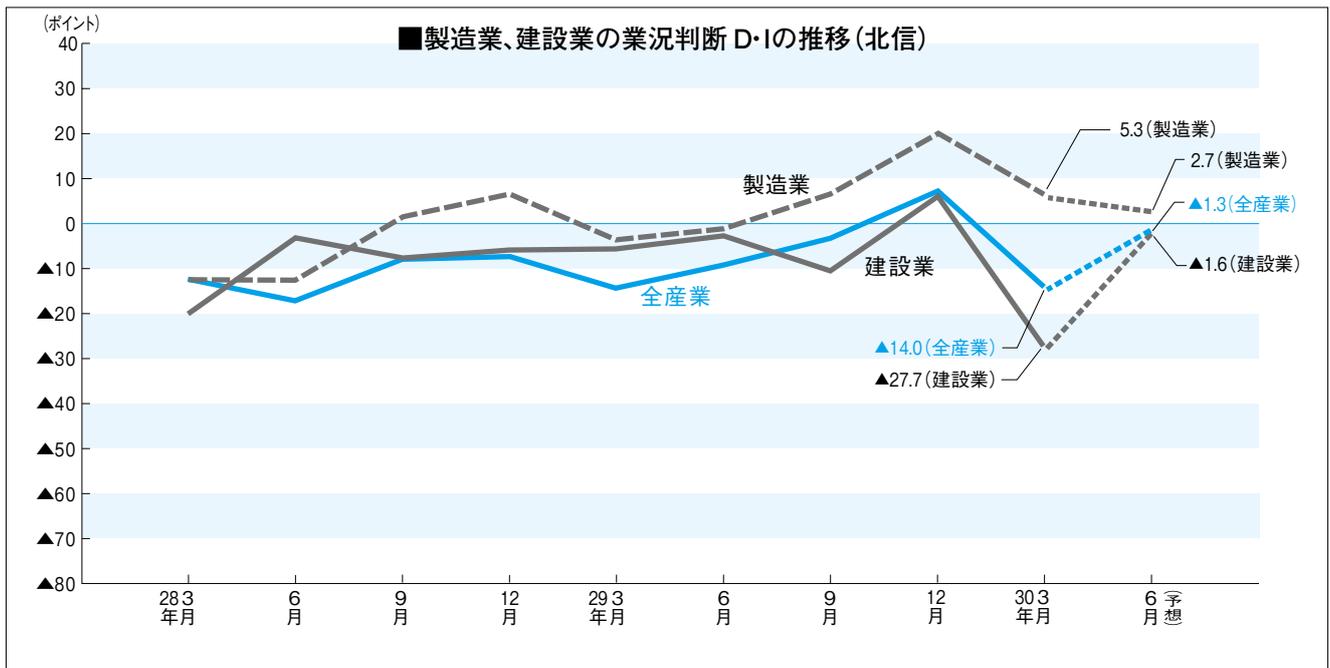
	売上高D・I(「増加」-「減少」)		収益判断D・I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	+15	▲30 (悪化)	+4	▲32 (悪化)
製造業	+21	▲21 (悪化)	+4	▲28 (悪化)
非製造業	+12	▲35 (悪化)	+4	▲34 (悪化)

●北信地区の業況判断 D・Iの推移

	29年6月	9月	12月	30年3月	6月(予想)
全産業	▲9.3	▲3.3	+7.1	▲14.0	▲1.3
製造業	▲1.3	+6.5	+20.0	+5.3	+2.7
非製造業	▲13.0	▲8.1	+1.2	▲23.2	▲3.2

[調査要領]

- 調査実施……平成30年3月
- 調査対象企業(回収)
 - 製造業……76社
 - 建設業……67社
 - 卸小売業……48社
 - サービス業……49社
- 回収率……87.3%
- 従業員規模
 - 30人未満……74.7%
- 分析……D・I判断指数を中心に分析
- 合計……240社



製造業の景況

15ポイント悪化して+5に、来期も悪化の予想

製造業の1～3月期の業況判断D・Iは+5で、前期(+20)に比べ15ポイント悪化となりました。4～6月期は今期より2ポイント悪化の+3の予想です。

(前期)	10～12月期	+20
◆業況判断D・I	(今期)	1～3月期 +5
	(来期)	4～6月期 +3(予想)

◇業種別業況判断D・I

横ばい	精密機械
悪化	食料品・金属加工・一般機械・電気機械・自動車部品

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲28(32ポイント悪化)

「増益」割合	前期 24% → 11% (13ポイント減少)
「減益」割合	前期 20% → 39% (19ポイント増加)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期 60% → 50% (10ポイント減少)
「収支トントン」	前期 22% → 38% (16ポイント増加)
「赤字」	前期 19% → 12% (7ポイント減少)

企業からのコメント

- ★消費減速、原材料・資材・運賃など値上げのなか、業界として値上げする状況にない。(食料品)
- ☆工作機関連の制御盤関係は順調。プリント板加工は若干上昇気味。(電気機械)
- ☆★為替の安定で業績は改善方向にあったが、円高傾向になり、材料価格の上昇が心配。(精密機械)
- ★原材料価格の値上げとともに、一部の材料の入手が困難な状況にある。(プラスチック製品)

建設業の景況

34ポイント悪化して▲28に、来期は改善の予想

建設業の1～3月期の業況判断D・Iは▲28で、前回(+6)に比べ34ポイント悪化しています。4～6月期は今期より26ポイント改善の▲2の予想です。

(前期)	10～12月期	+6
◆業況判断D・I	(今期)	1～3月期 ▲28
	(来期)	4～6月期 ▲2(予想)

◇業種別	総合建設	前期 ▲17 → ▲9 (8ポイント改善)
	土木工事	前期 ▲8 → ▲39 (31ポイント悪化)
	建築	前期 +8 → ▲44 (52ポイント悪化)
	各種設備	前期 +27 → ▲10 (37ポイント悪化)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲32(27ポイント悪化)

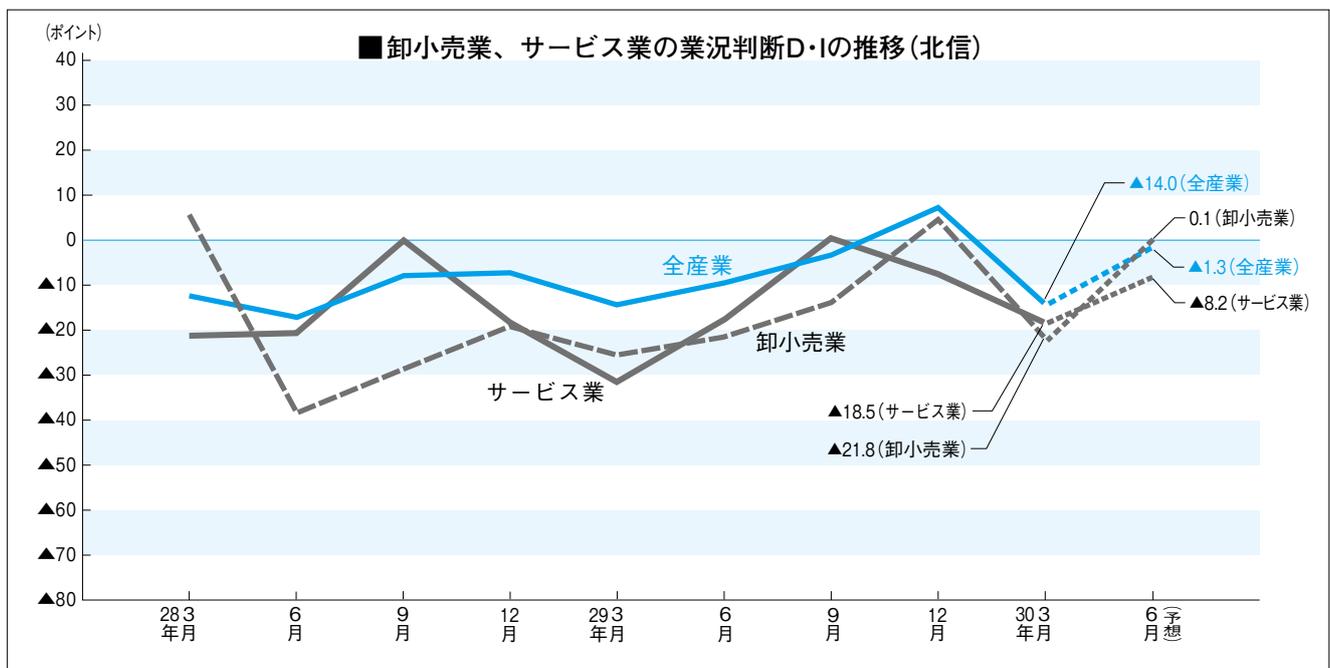
「増益」割合	前期 13% → 6% (7ポイント減少)
「減益」割合	前期 18% → 39% (21ポイント増加)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期 54% → 52% (2ポイント減少)
「収支トントン」	前期 42% → 43% (1ポイント増加)
「赤字」	前期 5% → 5% (横ばい)

企業からのコメント

- ★☆公共工事に頼らない、コストの吸収を継続的にできる体制にしていく。(総合建設)
- ☆★公共土木工事の発注件数は、災害によって平年比大幅に増えたが、競争も激しい。(総合建設)
- ★☆県内の仕事はあまりないが、首都圏方面の仕事は順調。(建築)



卸小売業の景況

業況は27割悪化の▲22、来期は改善の予想

卸小売業の1～3月期の業況判断D・Iは▲22で、前回(+5)に比べ27割悪化しました。4～6月期の業況判断D・Iは22割改善の±0の予想です。

◆業況判断D・I	(前期) 10～12月期 +5
	(今期) 1～3月期 ▲22
	(来期) 4～6月期 ±0(予想)

◇業種別	卸売業	前期 +10 → ▲33 (43割悪化)
	小売業	前期 ±0 → ▲12 (12割悪化)

◆収益判断D・I (「増益」-「減益」)…▲32 (59割悪化)

「増益」割合	前期 38% → 11% (27割減少)
「減益」割合	前期 11% → 43% (32割増加)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期 50% → 36% (14割減少)
「収支トントン」	前期 48% → 58% (10割増加)
「赤字」	前期 2% → 6% (4割増加)

企業からのコメント

- ☆この冬の車の整備・修理に関して、長野県内の取扱い台数は、例年より多かったようだ。(車検・整備)
- ★就職して車を購入する若者が減少。運転免許証は「写真付き身分証明」となってしまった。(車販売)
- ★一般家電商品の動きはあまりよくない。リフォーム工事等で売上をカバーしていく。(家電小売)
- ★コンビニ、インターネット通販などで買い物する顧客が増え、生鮮食料品も例外ではない。(青果小売)

サービス業の景況

業況は11割悪化の▲19、来期は改善の予想

サービス業全体の1～3月期の業況判断D・Iは▲19で、前回(▲8)と比べ11割悪化しました。業種別では、不動産が改善、観光が横ばいです。

4～6月期の業況判断D・I(予想)は11割改善の▲8です。

◆業況判断D・I	(前期) 10～12月期 ▲8
	(今期) 1～3月期 ▲19
	(来期) 4～6月期 ▲8(予想)

◇業種別業況判断D・I

サービス	前期 +22 → +13 (9割悪化)
輸送	前期 ▲18 → ▲46 (28割悪化)
タクシー	前期 ▲75 → ▲100 (25割悪化)
運輸	前期 +14 → ▲14 (28割悪化)
外食	前期 ▲10 → ▲33 (23割悪化)
観光	前期 ▲33 → ▲33 (横ばい)
不動産	前期 ±0 → +22 (22割改善)

企業からのコメント

- ☆運賃の値上げに少しずつ協力してもらっているが、まだ、こちらの希望価格には程遠い状況である。(運送)
- ★長野駅の利用客が減少しているように感じる。3年前リニューアルで増加した分以上に減少しているのではないかと。(和食)
- ★☆インターネットからの予約が、革命とっていいほどの早さで進行している。エンドユーザーから選ばれないと、その旅館は急速にすたれる。(旅館)

雇用情勢 1～3月期

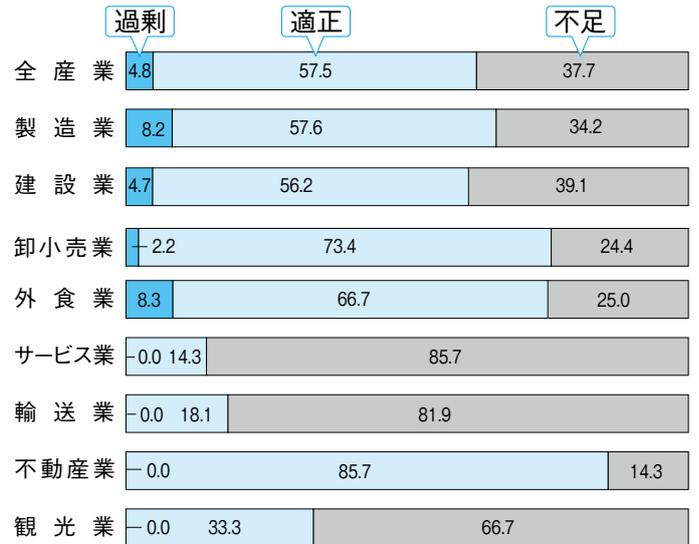
サービス・輸送・観光が悪化

従業員の過不足感(「過剰」-「不足」)は、全産業で▲33となり、前回(▲34)と横ばいの状況です。

雇用情勢 (「過剰」-「不足」)

業種	前期(10~12月)	今期(1~3月)
全産業	▲33.6	▲32.9
製造業	▲25.3	▲26.0
建設業	▲40.3	▲34.4
卸小売業	▲25.0	▲22.2
外食業	▲40.0	▲16.7
サービス業	▲44.4	▲85.7
輸送業	▲63.7	▲81.9
不動産業	▲18.2	▲14.3
観光業	▲55.6	▲66.7

従業員の過不足感 (%)



(資料:当金庫)

資金繰り 1～3月期

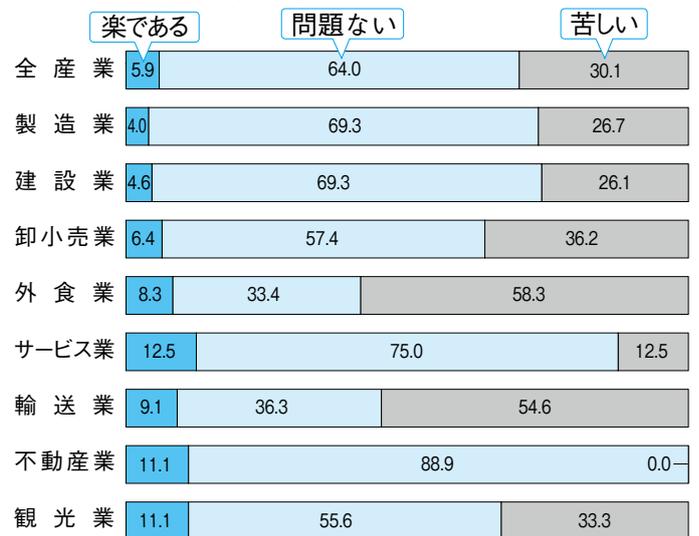
外食・卸小売が悪化、不動産・観光は改善

資金繰り状況判断(「楽である」-「苦しい」)は、全産業で▲24となり、前回(▲19)より5ポイント悪化しています。

資金繰り (「楽である」-「苦しい」)

業種	前期(10~12月)	今期(1~3月)	来期(4~6月)
全産業	▲19.1	▲24.2	▲22.2
製造業	▲14.8	▲22.7	▲24.0
建設業	▲20.9	▲21.5	▲16.9
卸小売業	▲13.9	▲29.8	▲21.7
外食業	▲10.0	▲50.0	▲41.7
サービス業	▲11.1	±0	±0
輸送業	▲45.5	▲45.5	▲50.0
不動産業	▲25.0	+11.1	+11.1
観光業	▲44.4	▲22.2	▲44.5

資金繰り状況感 (%)



(資料:当金庫)

販売価格動向 1～3月期

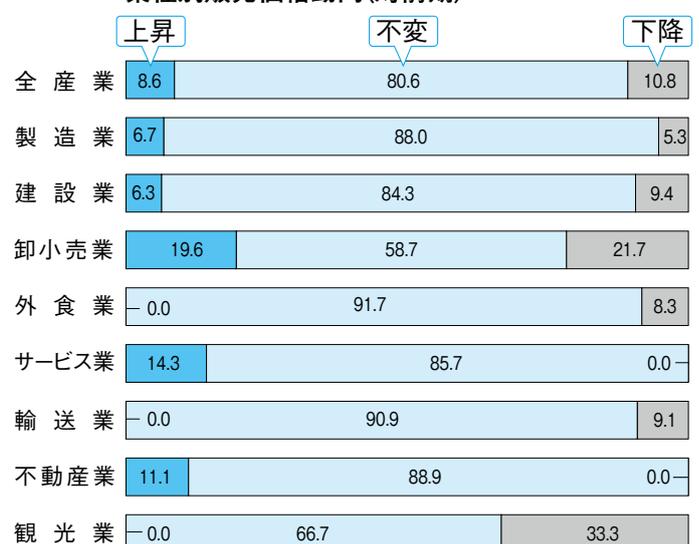
不動産が上昇、観光・外食・建設は下降

販売価格動向(「上昇」-「下降」)は、全産業で▲2となり、前回(+1)に比べ3ポイント下降しています。

販売価格動向 (「上昇」-「下降」)

業種	前期(10~12月)	今期(1~3月)	来期(4~6月)
全産業	+1.3	▲2.2	+5.2
製造業	▲1.4	+1.4	±0
建設業	▲7.7	▲3.1	+1.5
卸小売業	+13.6	▲2.1	+8.9
外食業	+20.0	▲8.3	±0
サービス業	+11.1	+14.3	+14.3
輸送業	▲9.1	▲9.1	+30.0
不動産業	▲8.3	+11.1	+11.1
観光業	+22.2	▲33.3	+25.0

業種別販売価格動向(対前期) (%)



(資料:当金庫)

従業員の過不足状況 半数の企業が[人手不足]

人手不足による影響 「需要増への対応困難、機会損失」

企業アンケート 人手不足 ① 30年3月調査

従業員の過不足状況 半数の企業が[人手不足]と答え、うち1割近い企業が「深刻である」と訴えています。

人手不足による影響 主なものは「需要増への対応困難、機会損失」「残業時間の増加」「人件費・外注費等のコスト増大」です。

「人手不足が深刻である」は40%で、合わせて49%の企業が[人手不足]と答えています。「過剰である」は3%に過ぎず、「過不足なく適正状態」は47%でした。

従業員規模で見ると、30人未満の[人手不足]46%に対し、30人以上は11割高い57%、しかも「人手不足が深刻」は、30人未満の7%に対し、30人以上は15%と2倍になっています。

従業員の過不足状況

「過不足なく適正状態」47%

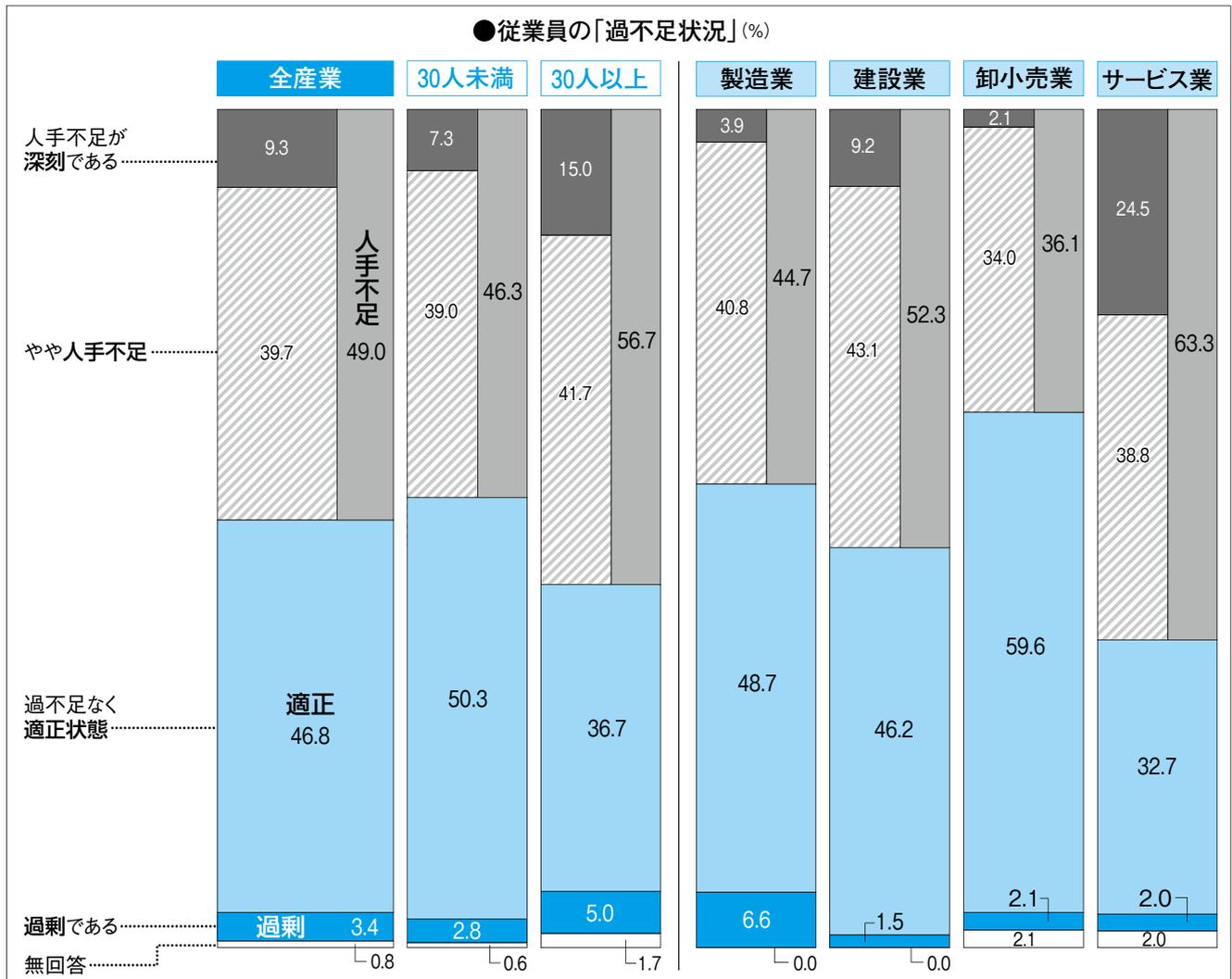
「従業員の過不足状況」を聞きました。

「人手不足が深刻である」は9%、「やや人手不

業種別

サービス業 [不足] 63% うち「深刻」25%

製造業 「人手不足が深刻」は4%、「やや人手不



足」は41%、合わせて45%が[人手不足]と答えています。「適正状態」は49%ですが、「過剰」(7%)は他業種に比べ最も高くなりました。

[人手不足]は30人未満が42%、30人以上が52%です。

建設業 [人手不足]は5割を超え、中でも「やや人手不足」は43%と、他業種に比べ最も高くなりました。「過剰」(2%)は他業種に比べ最も低くなっています。

[人手不足]は30人未満が54%、30人以上が44%です。

卸小売業 「適正状態」(60%)は他業種に比べ最も高くなりました。したがって[人手不足](36%)は他業種に比べ最も低くなっています。

[人手不足]は30人未満が35%、30人以上が43%です。

サービス業 [人手不足](63%)と「人手不足が深刻」(25%)が他業種に比べ最も高くなりました。したがって「適正状態」(33%)は他業種に比べ最も

低くなっています。

[人手不足]は30人未満が57%、30人以上が72%です。

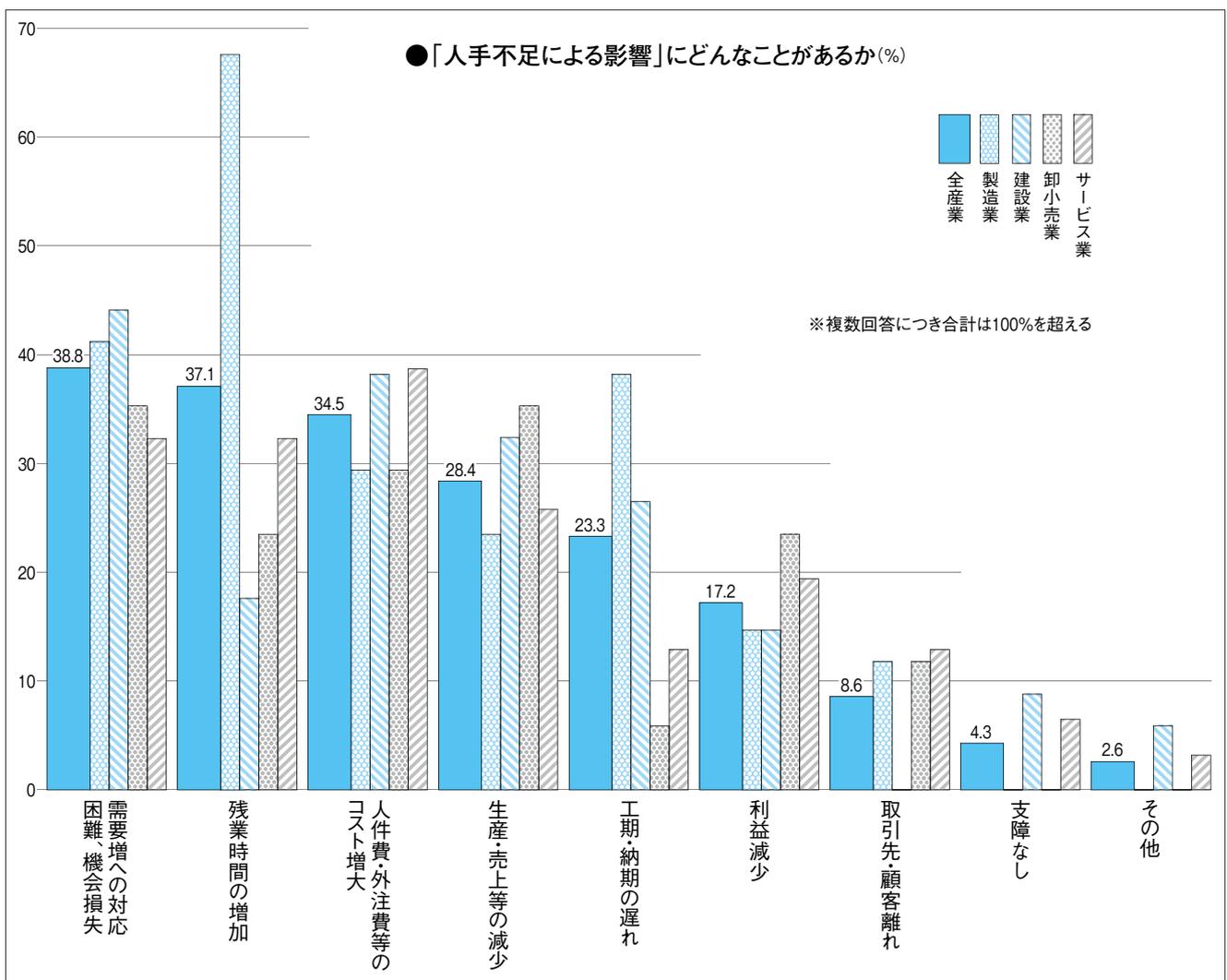
人手不足による影響

「残業時間の増加」37%

「人件費・外注費等のコスト増大」35%

「人手不足による影響にどんなことがあるか」を聞きました。

もっとも高い「需要増への対応困難、機会損失」(39%)をはじめ、「残業時間の増加」(37%)、「人件費・外注費等のコスト増大」(35%)が3割台になりました。2割台には「生産・売上等の減少」(28%)、「工期・納期の遅れ」(23%)が、ほかに「利益減少」(17%)、「取引先・顧客離れ」(9%)があがっています。「支障なし」は4%に過ぎません。



業種別

製造「残業時間の増加」68%

建設「需要増への対応困難、機会損失」44%

製造業 「残業時間の増加」(68%)と「工期・納期の遅れ」(38%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方、「人件費・外注費等のコスト増大」(29%)、「生産・売上等の減少」(24%)、「利益減少」(15%)、「支障なし」(0%)は他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「需要増への対応困難、機会損失」(44%)、「支障なし」(9%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方、「残業時間の増加」(18%)、「利益減少」(15%)、「取引先・顧客離れ」(0%)が他業種に比べ最も低くなっています。

「その他」には、「若年社員の不足によって、社員の高齢化が大きな問題になっている」との回答がありました。

卸小売業 「生産・売上等の減少」(35%)、「利益減少」(24%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方、「人件費・外注費等のコスト増大」(29%)、「工期・納期の遅れ」(6%)、「支障なし」(0%)が他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「人件費・外注費等のコスト増大」(39%)、「取引先・顧客離れ」(13%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方、「需要増への対応困難、機会損失」(32%)が他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「不足解消策で求める人材」と「人手不足の対応策」を予定

【調査要領】

実施期日：2018(平成30)年3月上旬～中旬

実施方法：第171回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収240社(製造業76社、建設業67社、

卸小売業48社、サービス業49社)

うち従業員30人未満177社(74.7%)

人手不足に関する企業からのコメント

製造業

- ◇「人手」というよりも「人材」不足を感じる。一定の技術を取得して能力を発揮できる人が思ったより少なく、育成も困難に思う。
- ◇できる限り機械化を促進していく。大学等と連携して“人材”を確保する。
- ◇高齢者の“適材適所”での雇用方法を考えたい。(以上食料品)
- ◇社会情勢もあるが、労使ともに、自分たちの主張が強すぎることに原因があると思う。(印刷)
- ◇労働法制を大企業と中小零細企業で同一内容にすべきではない。中小零細企業の人手不足がより深刻になるから。
- ◇従業員のことが優先されるが、中小企業経営者への配慮はないのか。(以上一般機械)
- ◇人手不足の対策は残業等で補っているが、開発・管理部門は経験者が退職していて、人材不足の感が強い。(精密機械)
- ◇先の見通しが不透明な状態なので、人材を増やすこと(雇用)には慎重にならざるを得ない。(プラスチック製品・金型)

建設業

- ◇新卒採用とともに、技術者の採用にも苦慮している。現在の入札制度や建設業に対するイメージが悪く、環境の改善を求めているように感じる。
- ◇待遇面もあるが、職場での人間関係の良し悪しが、

若者の定着に左右すると思う。

- ◇零細企業にとって、どんな法律ができようとも、現実とあまりにもかけ離れているので、実現するのは難しい。人を集めるためにできることも限られている。(以上総合建設)
- ◇「人手不足」などで片付ける軽い話ではない。根本的に考えなければ大変なことになる。(土木工事)
- ◇若者の離職率の高さと営業職を嫌う傾向が顕著。対応として、スポーツ等の福利厚生充実と、外国人実習生受け入れをさらに推進していく。(内装)

卸小売業

- ◇シニアは経験豊富で教育研修が短期間で済む。朝のシフトも入りやすく、増加させたい。(土産品小売)
- ◇女性のパート社員が保育に絡んで退職してしまう。保育施設の充実を望む。(衣料小売)

サービス業

- ◇中小零細は、技術職の高齢化と若手人材育成が非常に厳しく、人材不足による廃業の話も聞こえてくる。現在の入札制度では、受注量が安定しないため、若手を育てる時間と資金がない。(測量・土木設計)
- ◇労働人口が減っている以上、外国人労働者がある程度解禁しなければ成り立たない企業が多く出たろう。GNPを維持するには、このことが急務ではないか。(旅館)

就職に重要と考えた条件 1位「仕事の内容」62%
現在の仕事における不満 1位「給与・賞与」34%

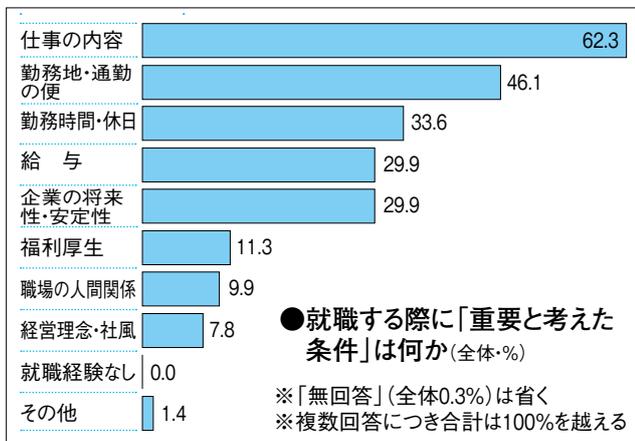
生活者アンケート
就業意識
30年3月調査

就職に重要と考えた条件

2位「勤務地・通勤の便」 3位「勤務時間・休日」

「就職する際に重要と考えた条件は何か」を聞きました。

1位「仕事の内容」(62%)、2位「勤務地・通勤の便」(46%)、3位「勤務時間・休日」(34%)のあとに「給与」「企業の将来性・安定性」が同率(30%)の4位となりました。ほかに「福利厚生」「職場の人間関係」「経営理念・社風」が10%前後となっています。



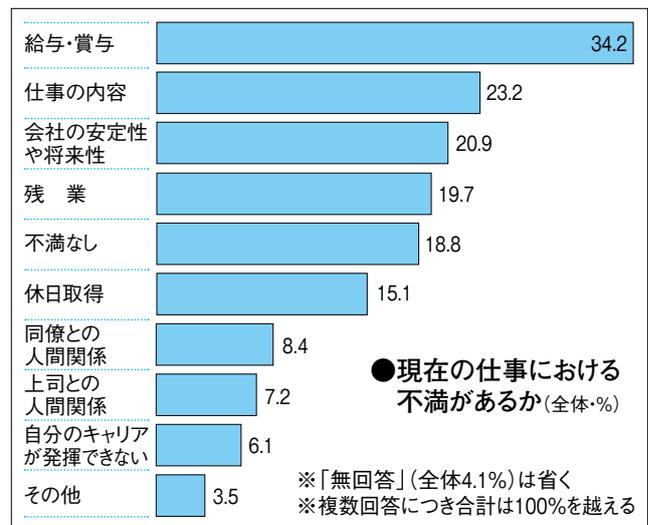
現在の仕事における不満

2位「仕事の内容」 3位「会社の安定性や将来性」

「現在の仕事における不満があるか」を聞きまし

た。

1位「給与・賞与」(34%)、2位「仕事の内容」(23%)、3位「会社の安定性や将来性」(21%)につづき4位「残業」(20%)、5位「不満なし」(19%)、6位「休日取得」(15%)があがっています。ほかに「同僚との人間関係」「上司との人間関係」「自分のキャリアが發揮できない」が1ケタとなりました。



[調査要領]

実施期日：2018(平成30)年3月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客345人(男性215人・女性130人)

調査方法：アンケート用紙に記述(無記名)

就業環境に関する生活者からのコメント

- ◇人手不足は変わらない。業務や取扱商品が増えているので、就業環境は良くなっていない。(20代女性)
- ◇残業時間は改善された。(20代男性2人)
- ◇社長や上司に細かい希望まで聞いてもらえるので、何の不自由もない。
- ◇良くなったと思う。以前よりスタッフの団結力が高まったように感じる。(以上30代女性)
- ◇組織の壁が高く、縦割りの弊害が出ており、就業環境は変わらない。
- ◇ITシステムの活用が進められているが、就業環境は変化なし。(以上30代男性)
- ◇働き方改革のおかげで就労時間が減ったが、仕事は進まない。(40代女性)
- ◇人員不足に対し給与水準の上昇が少なく、若年層が働きがいを見つけにくい環境になっている。
- ◇長時間労働が改善され良くなっている。
- ◇営業や企画といった職種は、労働時間と成果がマ

- ッチせず、画一的な働き方改革は無意味。
- ◇ITの普及などによって作業効率が上がり、残業が減り余裕をもって仕事に取りかかることができ、就業環境はよくなったと思う。(以上40代男性)
- ◇シルバー層の活用を積極的に国は推進すべき。
- ◇とてもよくなった。感謝する毎日である。
- ◇厳しくなる一方である。(以上50代女性)
- ◇単純な労働時間の削減は、企業の生産性や効率性の阻害になると思う。働き方改革は、多様な働き方の選択が可能であるように進めるべき。
- ◇仕事が同じで、給与のみ大幅ダウンは不満である。
- ◇コンプライアンスの浸透により、就業環境は良くなっているように思う。(以上50代男性)
- ◇生産性の向上・効率化のもとに、他の企業との同一性が図られ、個性が薄れてきている。就業環境の良さとは何を指すのか。本来、全ての企業は相違しているべき。(60代以上男性)

北信濃 江戸時代の風景

(45) 善光寺の仲見世

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



『諸国道中商人鑑』

今年度は、文政10年(1827)に出版された『諸国道中商人鑑』(善光寺之部)の絵を紹介します。これは江戸から中山道を経て、追分宿から北国街道に入り、善光寺に至るまでの途中の商人(宿場の旅籠屋など)の広告集です。ここには文字だけの広告もありますが、店頭の有様などを描いた広告も多数あって、当時の世相を知るよい手がかりとなっています。

高砂屋

左下の図は『諸国道中商人鑑』の「善光寺仁王門内之部」に掲載された、表具屋「たかさごや」(高砂屋)の広告です。上に屋根があって、「たかさごや」の暖簾を掲げた店頭がそのまま描かれています。店先には店をのぞく旅人や腰を掛ける男がいて、店の内部では2人によって表具の作業が行われています。

右側には「張ませ書画いろいろ」、左側には「経折本、屏風、ふすま類」と、文字が書かれています。こうしたものの表具をするという意味でしょう。

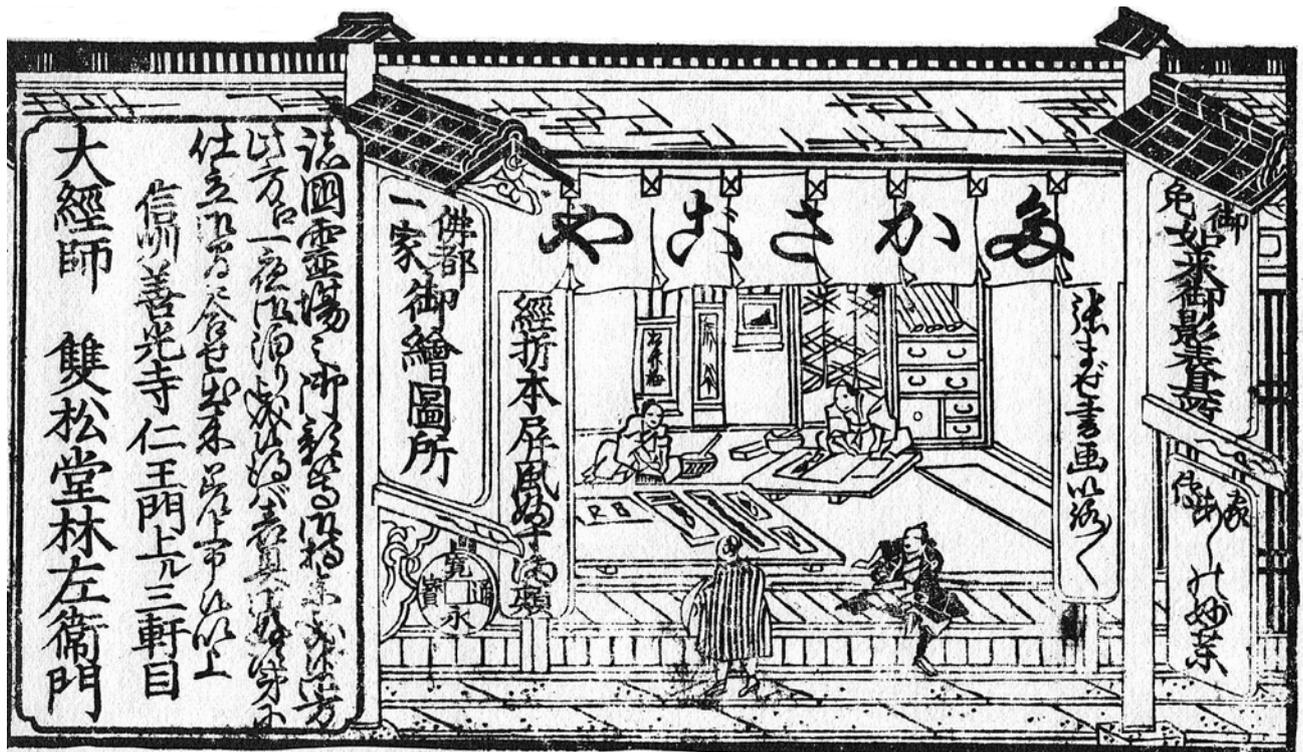
左端に「信州善光寺仁王門上ル三軒目 大経師 双松堂林左衛門」とあって、仲見世の南から三軒目にあった店であることが分かります。東西のどちら側であるかは分かりません。高砂の松(兵庫県高砂市)は2本が1本になった、いわゆる相生の松です。「たかさごや」と「双松堂」は同じ意味なのでしょう。

左右の看板

左右には屋根の付いた建て看板があります。右側の看板は、上段に「御免 如来御影表具所」と書いてあります。「如来御影」は善光寺本尊のお姿を紙に印刷したもので、「御免」はそれを表具する許可を頂いているということでしょう。

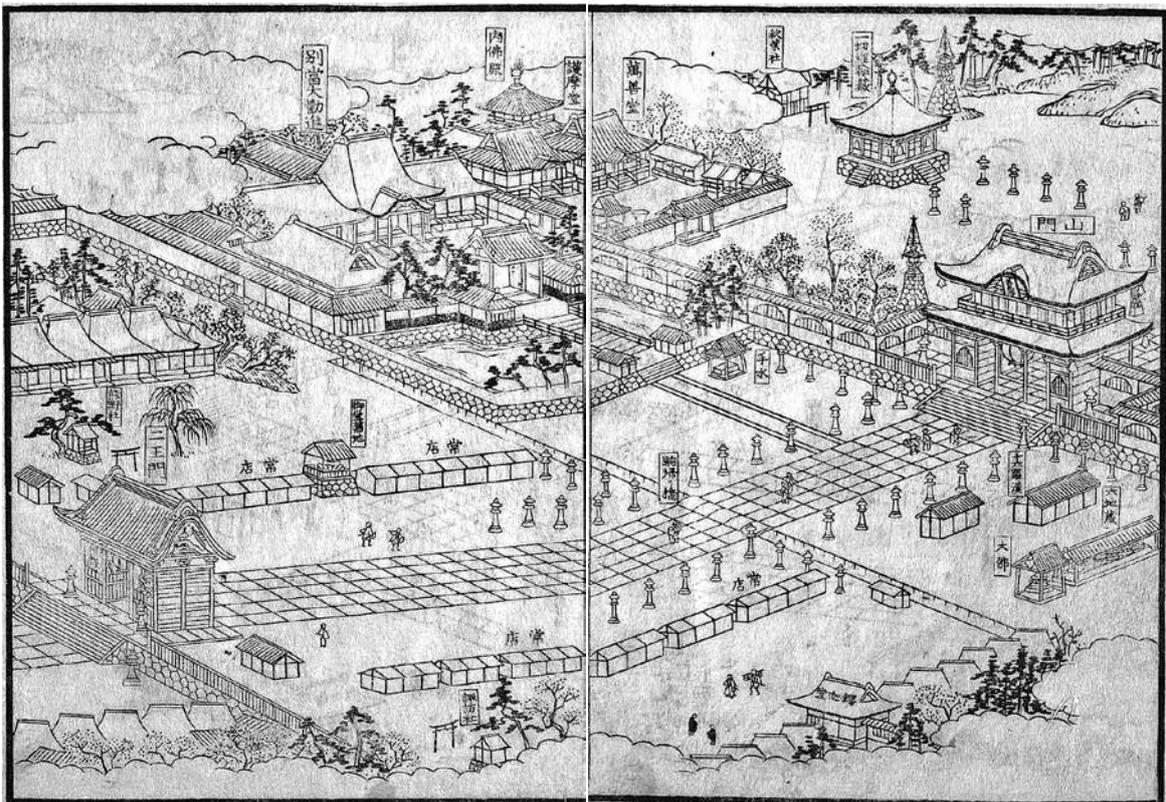
下段には「家伝 あしの妙薬」と書いてあります。表具屋のほかに、家伝の「足(脚)の妙薬」を販売しているのです。ここは遠方から善光寺まで歩いて旅を続けてきた人々の集まる場所ですから、足(脚)を傷めている旅人も多かったはずで、「あしの妙薬」の需要があったのです。

左側の看板には「仏都 一家 御絵図所」と書いて



「たかさごや」の図 (『諸国道中商人鑑』より)

善光寺の境内（『善光寺如来絵詞伝』より）



あります。その下には寛永通宝を模した円形の看板が下がっています。これは両替屋の看板です。経師屋を本業としながら、両替屋の営業もしていたことが伺えます。

口上

左側の枠で囲った中には、次のように宣伝の口上を書いてあります。「諸国霊場之御影等御持参被成候御方、此方江一夜御泊り被成候得バ、表具御好次第に仕立御間ニ合せ出来差上申候。以上」

(現代語訳)「諸国の霊場の御影などをご持参なさったお方は、こちらに一夜お泊りくだされば、表具をお好み次第に仕立て、間に合わせて差し上げます。以上」

善光寺は、西国三十三番札所などを巡った後、最後に参詣する習慣がありました。また高野山、羽黒山、伊勢神宮など、諸国の霊場を巡る一環として善光寺に詣でる人もいました。現在でも四国八十八番札所などを巡った後、最後にお礼参りとして善光寺に参詣する人が少なくありません。この口上も、そうした人々の需要に答えて、翌日までに表具を仕上げると宣伝しているのです。

仲見世にあった本堂

善光寺仲見世の中ほど西側には、堂跡地蔵尊と呼

ばれる銅造の地蔵尊がまつられています。現在の善光寺本堂は宝永4年(1707)に落成していますが、創建以来善光寺の本堂は現在の仲見世の位置にありました。本尊がおられた場所は神聖なので、現在も地蔵尊をまつっているのです。

仲見世の西側の通りは阿闍梨池通り、東側の通りは釈迦堂通りと呼ばれていて、それぞれに宿坊が立ち並んでいます。宿坊は阿闍梨池通りは西側に、釈迦堂通りは東側に並んでいます。仲見世に建物がなかったらと仮定してみると分かりますが、ここは広大な広場です。この広場が本来の本堂があった空間です。その広場の西側と東側に宿坊が立ち並んでいたのです。

本堂が現在地に移転した後の広場は堂庭と呼ばれ、本堂まで続く敷石の両側には店が立ち並びました。これが仲見世の始まりです。ただしそこに並んでいるのはあくまでも仮設の店ばかりで、永久建築や2階建ての建築物は禁止されていました。右上は安政5年(1858)に出版された『善光寺如来絵詞伝』にある善光寺境内の図です。小さな店が連なり、「常店」と書かれています。これは正しくは「床店」で、人の住んでいない小さな店のことです。高砂屋もそうした店の1つなのです。

5月号は「善光寺の仲見世(続)」の予定です。

長野しんきん



第15回 **ビジネスフェア2018**

継 先人の業績を受け継ぎ 往 開 発展させ 未来を拓く 来

入場
無料

日時 平成30年5月16日[水] 会場 **ビッグハット** 長野市若里3-22-2
10:30(開場10:00)~18:00 長野市若里多目的スポーツアリーナ

【主催】長野信用金庫 【共催】長野県信用金庫協会、長野県中小企業家同友会
【協賛】長野しんきんビジネスクラブ、長野信用金庫経営者協議会

写真/旧志賀高原ホテル：明治時代の初期、鉄道網が整備されるのに伴い、外国人居留地から周辺のリゾート地に近代的なホテルを建設する動きが活発化しました。また、居住したり来訪したりする外国人によって、新しいレクリエーションやスポーツが紹介されました。わが国最初の本格的スキーリゾートホテルである「志賀高原ホテル」は、そんな時代背景から誕生しました。現在は志賀高原歴史記念館として往時の姿を見ることができます。写真はエントランスの大暖炉。

●みなさまの経営相談のご案内 [5月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
5月 7日	月 城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	5月 17日	木 若穂支店	小布施支店 (中野支店)
8日	火 屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	23日	水 墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
9日	水 大豆島支店 (長池支店)		24日	木 大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
11日	金 南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	28日	月 本店営業部	
14日	月 篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	29日	火 本 部	
16日	水 更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	30日	水 本 部	

●5月の「しんきん事業相談会」は5月2日(水)です

長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでもご覧いただけます●

